○ 入会のご案内

近年、自然災害とその防災減災対策の重要性が益々高まっており、学会活動も更に活力あるものとしていきたいと考えております。自然災害科学･防災技術を専門とされる研究者･学生、自治体や企業などの組織や個人など、自然災害に関心を持っておられる皆様が本学会に参加されますようにお誘いいたします。

入会手続書類はこちらからご入手ください。

URL：http://jsnds.org/nyukai.html

写真提供

<裏表紙> 広島土砂災害：千木良雅弘（京都大学）
鬼怒川決壊：山本　晴彦（山口大学）
<中折込> 東日本大震災：澁谷　拓郎（京都大学）
<背　景> 桜島噴火：氷室　智子（事務局）

○ 学会組織

（2015年9月現在）

会長1名、副会長1名、理事12名、評議員34名
正会員、学生会員、購読会員、賛助会員
理事会、評議員会
企画委員会、自然災害科学編集委員会、
英文誌編集委員会、学会賞審査委員会、
学術委員会、災害情報委員会、国際委員会

○ 学会賞

学術賞
学術奨励賞
功績賞
Hazard2000国際賞
学術発表優秀賞

日本自然災害学会

JAPAN SOCIETY FOR NATURAL DISASTER SCIENCE

入会ご案内

<事務局>
〒611-0011
京都府宇治市五ケ庄
京都大学宇治キャンパス　防災研究所内
TEL：0774-38-4278
FAX：0774-38-4622
e-mail：sai@drs.dpri.kyoto-u.ac.jp
Web：http://jsnds.org/

日本自然災害学会（Japan Society for Natural Disaster Science：JSNDS）は自然災害科学の研究の発展と成果の普及に努めるとともに、防災減災に資することを目的として、昭和56年（1981年）3月に設立されました。現在約800の会員を擁し、主たる学会活動として学会誌「自然災害科学」、英文誌「Journal of Natural Disaster Science」を発行するとともに、年次学術講演会を開催しています。

日本自然災害学会　事業内容

1. 自然災害の基礎的学術研究、応用的技術研究ならびに防災・減災システムの究明に関する調査研究
2. 自然災害科学の知識の普及
3. 大学、官公庁および民間団体等の自然災害関係研究者および技術者の交流と連携
4. 自然災害関係の研究者および技術者の養成
5. 自然災害科学研究の国際的学術交流
6. 学会活動の一環として学術大会、学術例会、研究会、講習会の開催と学会誌「自然災害科学」、英文誌「Journal of Natural Disaster Science」等の刊行
7. その他本会の目的を達成するために必要な事業

○ 学会誌「自然災害科学」

「自然災害科学」は昭和57年（1982年）創刊で自然災害をキーワードとした日本で唯一の学術雑誌です。幅広い分野の研究成果を取りまとめて年4回発行しています。論文、報告、速報などいずれの区分でも随時投稿を歓迎いたしております。

URL：http://jsnds.org/ssk/

○ 英文誌「Journal of Natural Disaster Science」（JNDS）

1979年に創刊され、年に2回発刊しています。Vol.23（2001）からは学会のウェブサイトとJ-STAGEでご参照いただけます。論文の投稿を随時受け付けており、会員の方も非会員の方も投稿することができます。

URL：http://jsnds.org/jnds/

○ 学術講演会・オープンフォーラム

学術講演会は毎年行っており、自然災害に関するあらゆるジャンルから多数の講演があります。

また、同時にオープンフォーラムも開催されており、地域の自然災害について、市民の方々も参加し、活発なディスカッションを行っています。

（2015年9月山口で行われたオープンフォーラムの様子）